

# HORIBA グループの製品と技術

# HORIBA

## ターゲットとする6つの領域

HORIBAグループが目指す市場は、大きくはIT、メディカル、環境・分析、エンジン、バイオ、ユーティリティの6つです。

### IT

ITの領域では、半導体・液晶製造プロセス用の分析・計測及び制御機器をラインナップ。これらは新素材の研究開発の現場でも幅広く使われています。

### メディカル

メディカル領域では、中・小型の血球カウンタを中心に、医療現場の効率・スピードアップに貢献。更に、生化学分析への進出を図っています。

### 環境・分析

環境・分析領域は、日・米・欧に加え工業化が著しいアジア各国にも、それぞれの事情に応じた製品を供給。

### エンジン

排ガス分析の世界標準とまで言われているMEXAシリーズに代表されるエンジンの領域では、SLEVや燃料電池用の分析機器から周辺機器までエンジン計測全体をカバーしています。

### バイオ

広範なバイオ領域では、抗原抗体反応を利用したバイオセンサーを武器に、超微量環境計測分野にアプローチを開始。

### ユーティリティ

ユーティリティの領域では、人体センサ“ついちゃうもん”など、日常生活に計測技術を持ち込んだコンシューマ・プロダクトにチャレンジしています。

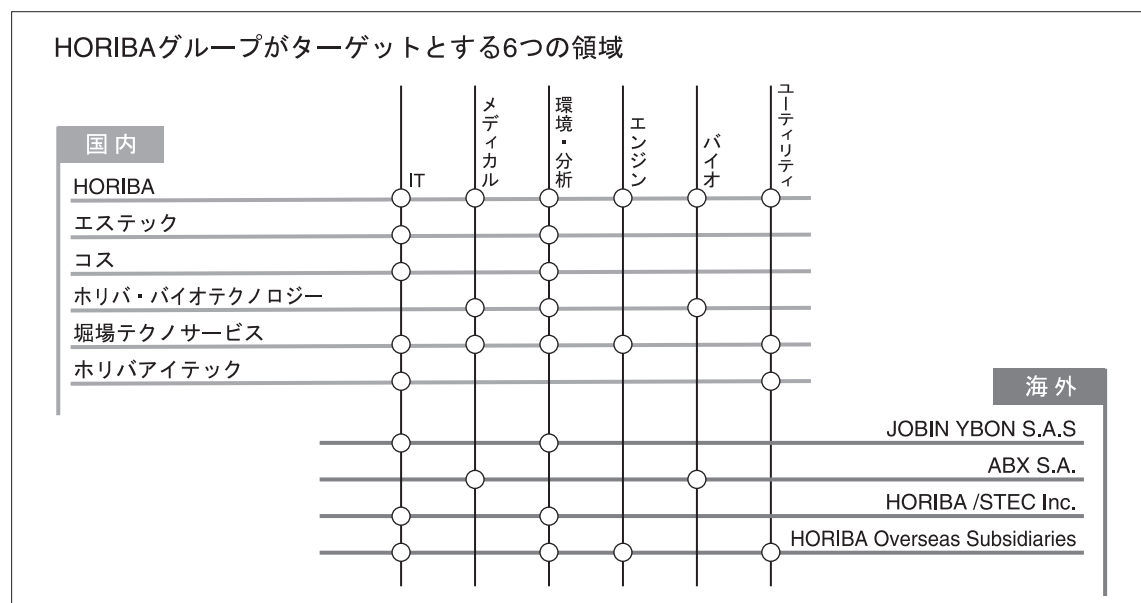
そして、これら6つのターゲット市場展開を支えているのが、HORIBAグループの5つのコアテクノロジーです。

## 礎となる5つのコアテクノロジー

pHメータに始まる液体計測技術、NDIR法を中心としたガス計測技術、蛍光X線による固体分析技術に加え、流体の計測・制御技術、及び分光計測技術の5つがHORIBAグループのコアテクノロジーです。pH、NDIR、X線は1953年の創立以来、HORIBAが培ってきた基幹技術で、今も液体・気体・固体計測関連製品を支え続けています。流体の計測・制御技術は半導体プロセスのキーデバイスであるマスフローコントローラでエステックを業界トップにした原動力です。また、コスはHORIBAの液体計測技術を受け継ぎ、半導体や農業分野に独自の製品を提供しています。

分光計測は回折格子の世界のトップメーカーであるJobin Yvon社(JY)が中心となって展開している技術分野です。分光エリプソメトリを使った超薄膜測定装置UT-300やABXが開発した臨床化学分析装置Pentra400は、HORIBAグループの計測技術を結集してできた成果の典型です。

HORIBAグループがターゲットとする6つの領域



## グループ会社の概要

この創立50周年記念号では、HORIBAグループ各社の中でも特にオリジナリティに富んだコア技術を武器に新たな事業を展開している5社をピックアップし、それぞれの製品・技術を紹介します。



### 株式会社 エステック

得意の流体計測・制御技術をベースとしたマスフローコントローラのトップメーカーで、HORIBAグループの半導体事業の中核を担っています。エステックは、公害計測器検定用標準ガス発生装置の製品化ルーツとして1974年に設立されました。以来、標準化と品質確保に特に力を入れた製品・サービスを提供し、お客様から高い信頼をいただいています。最近の半導体産業の厳しい経済環境を背景として、エステックの製品のインテリジェント化、モジュール化、ネットワーク化を図り、半導体プロセス全体の生産性向上に貢献しています。



### 株式会社 コス

コスはHORIBAグループの液体計測のエキスパート集団です。1975年、農業分野や食品加工分野など、比較的小規模な新市場に向けた計測機器の製造・販売を目的に設立されました。最近では、生活排水や河川・湖沼などの水質保全用計測機器、半導体洗浄プロセスモニタなど、環境と半導体を主なターゲット市場として製品やサービスを提供しています。計測機器の総合サプライヤ、HORIBAグループの中で、当社の最大の強みは、お客様の現場に入り込んできめ細かいニーズをつかみ、すばやく具体化する軽快さです。

## HORIBABIOTECHNOLOGY

### 株式会社 ホリバ・バイオテクノロジー

環境負荷化学物質の高感度分析を目的に2000年3月に設立されたベンチャー企業。大学の研究成果とHORIBAの半導体センシング技術とを融合させて、環境ホルモンや残留農薬などの環境負荷化学物質を、超高感度でしかも手軽に測る製品・技術の開発を目指しています。免疫化学測定試薬キットを使った残留農薬分析は、食品原料メーカーや小児用食品メーカーにおけるスクリーニング用

として特に期待されています。近い将来、遺伝子組み替えを利用した抗原生産などの最新のバイオテクノロジーとHORIBAの物理・化学分析に関するノウハウとの組み合わせが、新たな市場を創り出していくに違いありません。



### JOBIN YVON S.A.S

JYは1819年に創業を開始した総合光学機器メーカーで、本社をフランスに、世界中に拠点を置くグローバル企業。得意の分光技術をベースとした各種の光学・計測機器は、Jobin Yvon, Sofie, Dilor, Spexなどのブランド名で広く親しまれています。創業以来、主に研究開発者を対象とした種々の製品を提供し、優れた性能が高く評価されてきました。1997年にHORIBAグループに参入したのを機に、民間企業もターゲットに加え、半導体・バイオ市場に向かって積極的なビジネス展開を図っています。特に「紫外・可視のJY」と「赤外・X線のHORIBA」とのアライアンスがもたらすシナジー効果は、お客様からも大きく期待されています。



### ABX S.A.

1983年に設立したフランスの血液検査装置の専門メーカーで、現在は世界第5位の規模に成長しています。DHSS™やMDSS™など独自の技術を組み込んだ自動血球装置は、臨床検査の生産性向上に役立つと好評で、世界140カ国、25,000カ所以上の医療現場で活躍中です。1996年にHORIBAグループに参加して以来、ABXの研究開発力とHORIBAの生産技術力が相いまり、競合先へのOEMも含め高い信頼性を獲得しています。最近では、自動血球計数CRP分析装置 Micros CRPや臨床化学検査システムPentra 400など、HORIBAのグループ力を集結したユニークな新製品をリリースしています。